

取扱説明書

セルプラモーターポンプ MPJ形



OPERATION MANUAL Serupura Motor Pump MPJ

- このたびはセラダセルプラモーターポンプMPJ形をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになられる前にこの取扱説明書と電動機の取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになられたあとは、いつも手元においてご使用ください。

もくじ

安全上のご注意	1～4
お使いになる前に	4～6
運転のしかた	6
お手入れと点検	7
修理を依頼する前に	7
お問い合わせは	7
故障部位の分類と処置	8
構造図	9
部品名称	9
営業所一覧	12

INDEX


■ STRUCTURAL DRAWING	9
■ PARTS NAME	9
■ INSTRUCTIONS	10
■ OPERATION	10
■ MAINTENANCE	10
■ ON MARKING INQUIRES	11
■ CHART OF CLASSIFICATION OF TROUBLE AND ITS MANAGEMENT	11


安全上のご注意 Safety Cautions

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
Read these safety cautions thoroughly before using the equipment.


- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


The cautions noted here are designed to ensure that the equipment is used safely and correctly, and thus to prevent injury to yourself and others. The effects of incorrect use of the equipment are classified under Warning or Caution to illustrate the severity of injury or damage which may occur. In either case, the cautions are extremely important in terms of safety, and must always be followed.








 **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
Warning Incorrect operation may result in serious injury or death.







 **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。
Caution Incorrect operation may result in injury or damage to property.


- 絵表示について Examples:

 禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が示されています。
The icon indicates that the activity is prohibited. Details illustrating the Warning or Caution are drawn inside or near the icon.

 行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容が示されています。
The icon indicates that the activity is instructed or compulsory. Details illustrating the Warning and Caution are drawn inside or near the icon.

 警告 Warnings	
	<p>●ぬれた手で電源プラグに触れないこと Never touch the attachment plug of the power supply cords with wet hands.</p> <p>感電の原因になります。 Causing of electric shock.</p>
	<p>●修理技術者以外の方は分解したり、修理や改造をしないこと Never break up, repair or modify the pump by a person other than repair engineer.</p> <p>異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。 Causing of injury, electric shock to a person and or fire, by abnormal action of the pump.</p>
	<p>●酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害ガスや腐食成分を含んだガスが発生する場所、または、ほこりの多い場所には設置しないこと Never install the pump in locations that detrimental gas, such as acids, alkalis, organic solvents, paints etc, and the gas containing the corrosion ingredient generate, or in very dusty areas.</p> <p>火災やケガの原因になります。 Causing of fire or risk of injury.</p>
	<p>●電動機の端子箱カバーは取りはずさないこと Never remove the terminal box cover of the motor.</p> <p>感電の原因になります。 Causing of electric shock.</p>
	<p>●運転中に電動機や回転部に触れないこと Never touch the motor or the rotation part during operation.</p> <p>やけどやケガの原因になります。 Causing of burns or injury.</p>
	<p>●アース接続を必ず行うこと Should connect the grounding cord (green cord) to the grounding terminal before operating.</p> <p>アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースは電気工事業者によるD種(第3種)接地工事が必要です。 Never connect the grounding cord to the gas, water supply piping, lighting rod or telephone grounding line. (Its work is needed to act by a qualified electric worker.)</p> <p>アース接続が不完全な場合は、感電の原因になります。 Causing of electric shock, when imperfect grounding work performed.</p>

 警告 Warnings	
	<p>●専用の漏電しゃ断器と過負荷保護装置を設置すること Should install the exclusive using grounding-fault circuit interrupter (earth leakage breaker) and the overloaded protection equipment.</p> <p>漏電しゃ断器の点検は漏電しゃ断器の取扱説明書に従って行ってください。 Check the earth leakage breaker as per the supplied manual.</p> <p>故障や漏電のときに、感電・火災の恐れがあります。 Causing of electric shock or fire in the case of a fault or earth leakage.</p>
	<p>●電源プラグの刃の周囲にほこりが付着していないか定期的に確認し、接続は刃の根元まで確実に差し込むこと Should check and confirm if any dust is sticking around the edges of the attachment plug or not periodically, and insert to their full length certainly.</p> <p>ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。 Causing of electric shock or fire if the plug is dirty or the connections incomplete.</p>
	<p>●掃除や点検をする時は、電源プラグを抜くか電源を切ること Remove the plug, or switch power OFF, when cleaning and checking.</p> <p>感電やケガの原因になります。 Causing of electric shock or risk of injury.</p>
	<p>●動かなくなったり、異常がある場合は電源プラグを抜くか、電源を切り販売店に連絡すること If the pump does not rotate, or runs abnormally, remove the plug, or switch power OFF, and call the dealer.</p> <p>そのまま無理に使用すると、感電・火災の原因になります。 Causing to electric shock or fire if the pump is used in this condition.</p>
	<p>●関係者以外は近づけないよう、ポンプに囲いを設けること Place the guard around the pump to prevent contact by unauthorized persons.</p> <p>むやみに触れると、感電やケガの原因になります。 Causing of electric shock or injury if the pump is touched.</p>


 警告 Warnings



- 据え付けや電源設備・配線工事は専門業者に依頼すること

Ensure that the pump is installed and wired by qualified personnel.

水漏れや感電・火災の原因になります。
Causing of leaks and electric shock or fire.

 注意 Cautions



- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないこと。

また、重いものをのせたり、はさみ込んだりしないこと

Do not damage, modify, bend sharply, twist, or bundle together power supply wiring. Do not place heavy objects on, or crush, such wiring.

火災や感電の原因になります。
Causing of fire or electric shock.



- 電源プラグを抜く時は、電源ケーブルを持って抜かないこと

Do not pull the plug out of the socket by the cable. Always grip the plug to remove it.

必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルをひっぱるとケーブルが傷つき感電・火災の原因になります。

Causing of electric shock or fire in damage to the cable if the cable is pulled.



- 40℃以上のお湯、ガソリン、灯油、油、化学薬品には使用禁止

Do not use water hotter than 40℃, gasoline, kerosene, oil, or chemicals.

ポンプの故障の原因になります。
Causing of pump failure.



- 物をかぶせたり、燃えやすい物を近づけないこと

Do not place objects on the pump, and keep flammable objects away from it.

電動機に毛布や布などをかぶせないでください。

Do not cover the pump with blankets and cloths etc.

過熱して発火したり、故障の原因になります。
Causing of overheating and fire, and pump failure.

 注意 Cautions



- 空運転(水なし運転)、締切運転(吐出し弁を閉じたままでの運転)禁止

Do not run the pump dry (i.e. without water), or with the outlet valve closed, under any circumstances.

ポンプの故障や、やけどの原因になります。
Causing of pump failure or burns.



- 電源は専用コンセントを使用すること
Use a dedicated wall outlet.

電源ケーブルは途中で接続したり、延長ケーブルの使用やタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

Causing of electric shock, overheating, or fire if the power cable is plugged in during use, or extension cables or multiple outlet boxes are used.



- ポンプが故障で運転を停止できない場合には、予備のポンプを設置すること

Install a spare pump if the main pump cannot be stopped due to a fault.

予備のポンプはいつでも使用できるように、時々運転してください。

Run the spare pump periodically to ensure that it is always ready for use.



- 使用されないときは、電源プラグを抜くか電源を切り、ポンプの水を抜くこと。

When the pump is not in use, remove the plug or switch the power OFF, and drain it.

絶縁が老化すると、漏電や火災の原因になります。
Causing of earth leaks or fire if the insulation deteriorates.



- ポンプは仕様の範囲内で運転すること
Always operate the pump within specifications.

仕様範囲をはずれた運転は、異常の発生や故障の原因になります。

Causing of abnormal operation or failure if the pump is not operated within specifications.



- 凍結の恐れのあるときは保温するか、使用されないときはポンプ内の水を抜くこと

Warm up the pump if there is a danger of freezing, and drain it if it is not used.

ポンプ内の水が凍結すると、破損の原因になります。
Water freezing inside the pump may damage it.

⚠ 注意 Cautions



- 配管の重量がポンプにかからないように配管を固定すること
Support piping so that its weight is not applied to the pump.

配管の固定に不備があると、ポンプの故障の原因になります。
Causing of pump failure if piping is not properly supported.



- 据え付け場所は、床面が防水処理・破水処理されていて点検がしやすい場所を選ぶこと
Install the pump in a location where facilitates are waterproofing of the floor and drainage.

水漏れがおきたときに大きな被害になる恐れがあります。
Serious damage may result from water leaks.



- 停電のときは必ず電源プラグを抜くか、電源を切ること
Remove the plug, and switch power OFF, in the event of a power failure.

通電時に不意に動き、ケガや感電をすることがあります。
The pump may start unexpectedly causing injury or electric shock, when power comes on again.

お願い

- 液質・濃度や液温によりご使用できないことがあります。ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

The pump life depends on the liquid materials, viscous ness and temperature. If you are unsure whether the pump is available for the above liquid, please feel free to contact the agency where pump was purchased.

- スラリー・土砂等の異物を含んだ水は、ポンプ寿命をいちじるしく縮めますのでご注意ください。

Be careful that the liquid with other objects such as slurries or soil causes the pump life far shorter.

- 冬季など凍結によりポンプが故障することがありますので、ご注意ください。

Be careful that the pump is not damaged by freezing.

- ポンプの直列運転はしないでください。

Don't use the pump in series.

お使いになる前に

標準仕様

お買い上げいただきましたポンプの全揚程、吐出し量、回転数、電動機の電圧、電流などの性能は銘板をご参照ください。その他の仕様を下の表に示します。

標準仕様 PUMP SPECIFICATIONS		
取扱液 Liquid handled	液質 Qualities	清水 water
	温度 Temperature	0~40°C
自吸性能	Self priming	-7m(20°C)
設置	Installation location	屋外 Outdoors (ambient temperature 0~40°C)
電動機 Motor	極数 Poles	2極 2 poles
	相 Phase	3相 3 phase
	電圧 Voltage	200V

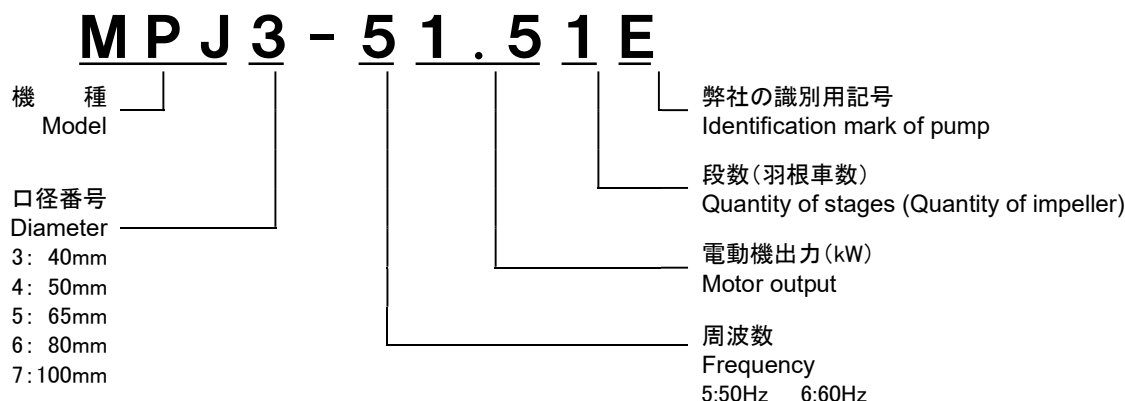
仕様からはずれた範囲ではご使用にならないようお願いいたします。

The pump cannot be used for pumping seawater or special liquids.

お使いになる前に

標準仕様

■形式説明



据 付

- (1) 据え付けや配管時にポンプをぶつけたり、落としたりしないでください。
- (2) 据え付け基礎面はできるだけ堅くし、水平にしてください。
- (3) 基礎ボルトを共通ベースや単独ベースにつけ(ナットはボルトの頭一杯につける)あらかじめあけておいた穴に、ボルトを垂下しモルタルを充填してください。
- (4) モルタルが硬化後、共通ベースや単独ベースの下にライナ等を入れ、水平を確かめながらナットを平均に締め付けてください。

配 管

1. このポンプは清水用ですので、他の液質で使用される場合、又、不明な箇所がありましたら弊社までお問い合わせください。
2. 試運転・本運転に関わらず、ポンプ本体内に満水になるまで注水してください。
3. ポンプに異常水圧がかからないようにしてください。逆止弁等を使用し、ウォータハンマが発生しない配管にしてください。
4. 周囲温度及び液温は、0~40℃でご使用してください。(冬季など凍結によりポンプが破損することがありますので注意してください。)
5. 空運転や締切運転はしないでください。
6. 土砂や異物を含んだ水は、ポンプ寿命を縮めますので使用しないでください。
7. ポンプの運転は、必ず仕様の範囲内で行ってください。(仕様範囲外で運転されますと、異音の発生・故障の原因となります。)
8. 吸水弁は、まれに漏れる場合がありますので、自動運転する場合は、安全のために逆止弁等で漏れの対策を行ってください。
9. ポンプに吐出し配管・吸込配管の重量がかからないように、必ず配管を支持してください。

■吸込配管

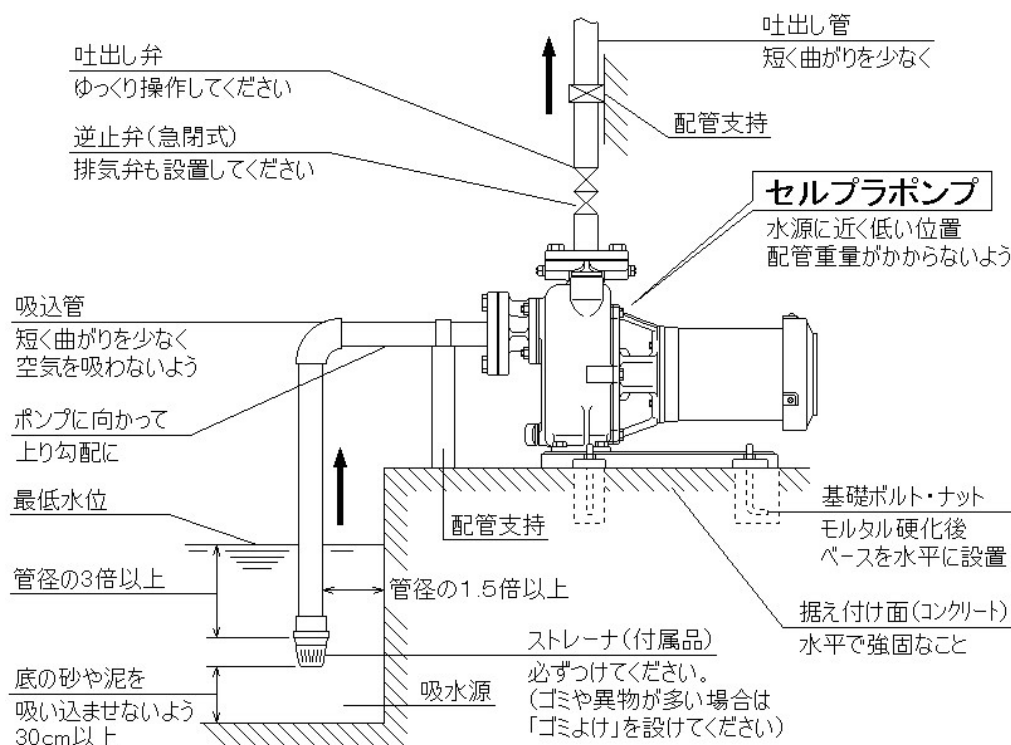
- (1) できるだけ短く曲がりを少なくしてください。吸込管の水平部はポンプに向かって上り勾配にして、接続部は空気を吸わないようにしてください。
- (2) 吸込管の先端には必ずストレーナをつけてください。ごみなど多く集まる水源にご使用の場合は、ストレーナの周りに「ごみよけ」を設けてください。
- (3) 吸込管の先端は、管径の3倍以上水面下に沈め、底からは30cm以上離してください。(ポンプを運転すると水位が低下しますので注意してください。)

■吐出し配管

- (1) できるだけ短く曲がりを少なくしてください。(排気が悪いと自吸時間が長くなりますので、末端は空気中に出すか、吐出し口の近くに空気抜き弁を設けてください。)
- (2) 吐出し管が長い時・吐出し高さが高い時・自動運転の時などは、必ず逆止弁(急閉式)と空気抜き弁を設けてください。

お使いになる前に

据付・配管のポイント



1. 周囲温度は40°C以下で、風通しが良い場所に設置してください。
2. 据付位置はできるだけ水源に近く、低くしてください。吸水面から吸水口の中心までは、5m以内にしてください。(吸込配管の横引部分が高くなると、自吸しないことがあります。)
3. 水平で安定し、排水処理の良い、保守点検に便利な場所に設置してください。

電気配線

警告



- 電気設備や配線工事は電気工事店に依頼すること

誤った配線工事は感電や火災の原因になります。

- 電動機保護、危害予防のため、電磁開閉器と漏電しゃ断器を取り付けてください。

- (1)ポンプに電源を接続し、異常の有無・回転方向等を確認してください。(回転方向を確認する際は、ポンプには必ず水を入れておいてください。)
- (2)電動機の回転は、ポンプに表示の矢印方向と合うように配線してください。電源を1、2回入り切りして、回転方向を確認してください。逆回転の場合は、電源電線の2本の位置を入れ替えてください。
- (3)電源とポンプが離れている場合は、電圧降下が起こりますのでご注意ください。電動機端子の所の電圧が、定格電圧の±10%以内、周波数は±5%以内になるようにしてください。

運転のしかた

注意



- 空運転(水なし運転)、締切運転(吐出し弁を閉じたままでの運転)禁止

ポンプの故障や、やけどの原因になります。

1. ポンプの注水口止栓を外して、水をケーシングに一杯入れ注水口止栓をしめます。(吐出し弁や排気弁は、必ず空気が抜けやすいように開けてください。排気が悪いと自吸しないことがあります。)
2. 電源スイッチをいれます。

3. 自吸が終わり揚水を始めたら、排気弁などを閉めます。10分以上経過しても揚水しない場合は、電源スイッチを切り、ポンプや配管を点検してください。
4. 吐出し弁を締め切ったの運転や、空運転は絶対にしないでください。
5. ポンプ停止時は、ポンプに高い水圧がかからないよう、吐出し弁等を閉じてから電源スイッチを切ってください。
6. ポンプの起動回数は、できるだけ少なくしてください。(1時間に6回以内にしてください。6回以上の起動回数がある場合には、弊社にお問い合わせください。)

お手入れと点検

警告



- 掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くか電源を切ること

感電やケガの原因になります。

1. ポンプ運転の有無に関わらず、定期的に水漏れ、圧力低下、振動、騒音、過電流、発熱、絶縁抵抗、結線の接続、各締付部、取付個所のボルトのゆるみ、その他異常な個所がないか、点検してください。
2. 長期間運転を休止するときは、ケーシング下部のドレンプラグよりポンプ内の水を抜いて下さい。また、寒冷地の冬期はケーシング内の水が凍結膨張し、ポンプを破壊する恐れがありますから十分に注意してください。

●標準付属品	単独ベース.....	1個	ストレーナ.....	1個
	相フランジ(ボルト・ナット・パッキン付).....	2組	取扱説明書.....	1冊

修理を依頼する前に

警告



- 修理技術者以外の方は分解したり、修理や改造をしないこと

異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。



- 動かなくなったり、異常がある場合は電源プラグを抜くか、電源を切り販売店に連絡すること

そのまま無理に使用すると、感電・火災の原因になります。

「故障かな?」と思ったら、まず次のことをお調べください。
それでも具合の悪い時は、電源プラグをコンセントより抜くか、電源を切り、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。
販売店へご連絡する時は、ポンプ銘板に記載の形式・製造番号、お買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

お問い合わせは

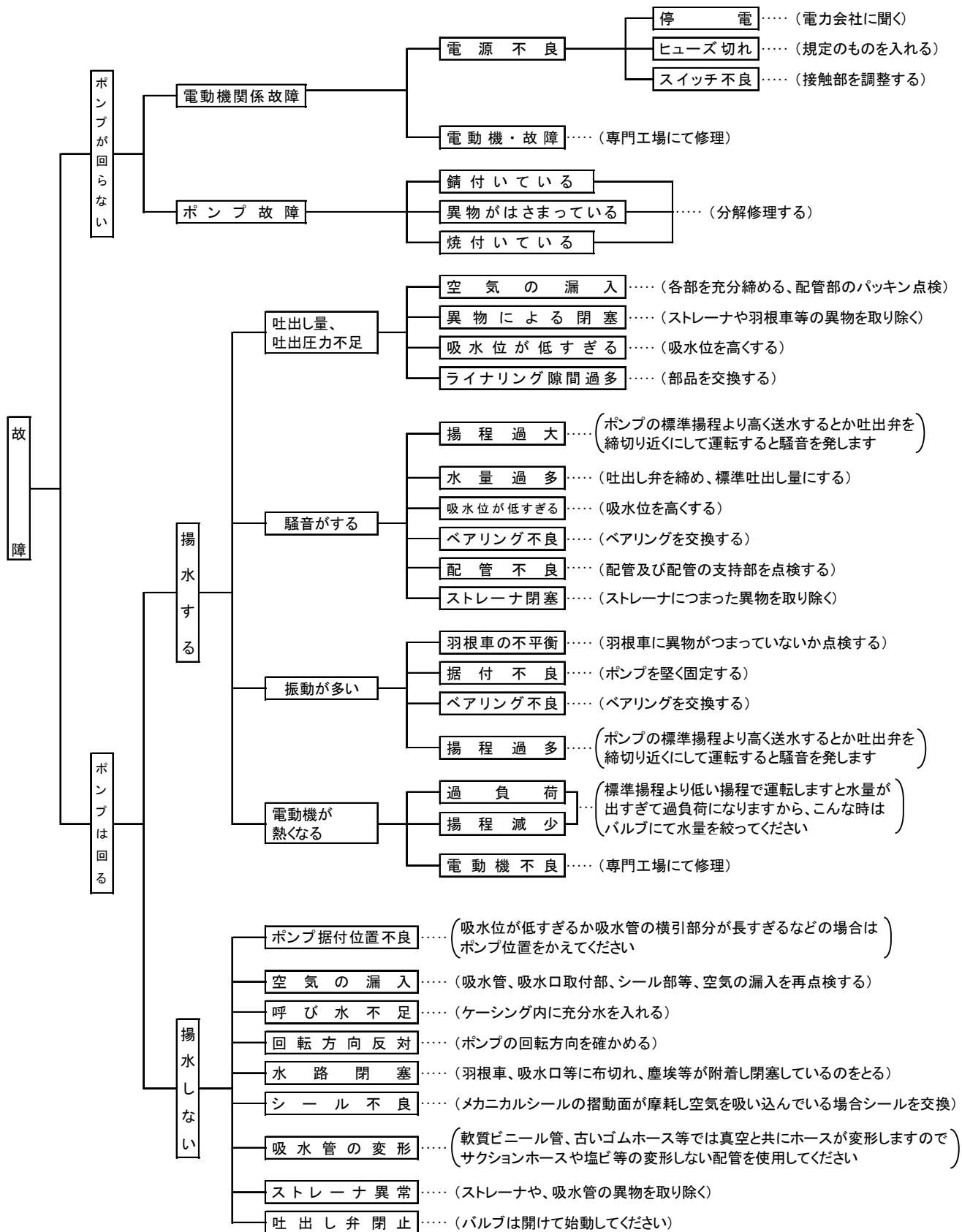
故障、その他でお困りの節は、遠慮なく最寄りの弊社代理店、販売店、弊社営業所へご相談ください。
すべて故障の照会、補用部品のお申し越しには次の事項をご明示願います。

- 銘板記載事項
- ご使用の液質
- 補用部品及び個数
- 故障発年月日
- 故障個所、状態

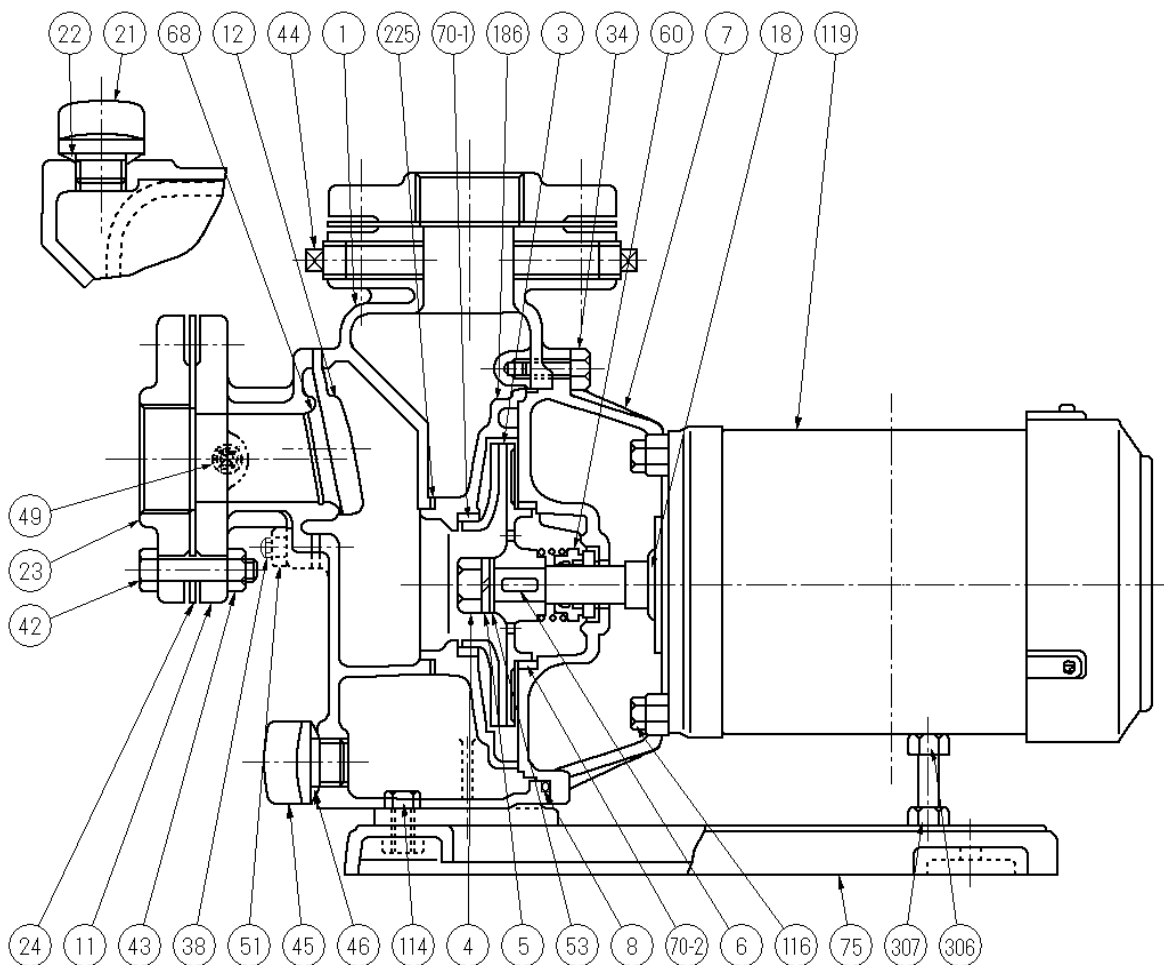
■ポンプの記録

購入年月日 年 月 日	口径 mm
購入先	形式 MPJ —
使用開始 年 月 日	製造番号 No.

故障部位の分類と処置



構造図及び部品名称 (STRUCTURAL DRAWING AND PARTS NAME)



注：(70-2)ライナリングは MPJ3-50.71・MPJ3-60.71・MPJ4-50.71・MPJ4-61.51 には取り付けられておりません。

(68) 吸水口ブッシュは MPJ3・MPJ4 のみに取り付けられております。

1	ケーシング	45	ドレンプラグ
3	羽根車	46	ドレンプラグ用パッキン
4	羽根車ナット	49	真空計座プラグ
5	羽根車ナット用パネ座金	51	吸水口取付ナット
6	羽根車キー	53	羽根車ナット用平座金
7	ケーシングカバー	60	メカニカルシール
8	ケーシングパッキン	68	吸水口ブッシュ
11	吸水口	70-1	ライナリング
12	吸水弁	70-2	ライナリング
18	水切つば	75	ベース
21	注水口止栓	114	ポンプ取付ボルト
22	注水口止栓パッキン	116	電動機取付ボルト
23	相フランジ	119	電動機
24	相フランジパッキン	186	内部ケーシング
34	ケーシングカバー取付ボルト	225	内部ケーシング用パッキン
38	吸水口取付スタットボルト	306	電動機支持ボルト
42	相フランジ用ボルト	307	電動機支持ボルト用 ナット
43	相フランジ用ナット		
44	圧力計座プラグ		

1	Casing	45	Drain plug
3	Impeller	46	Drain plug packing
4	Impeller nut	49	Plug
5	Spring washer	51	Nut
6	Impeller key	53	Washer
7	Casing cover	60	Mechanical seal
8	Casing packing	68	Bushing
11	Suction port	70-1	Liner
12	Suction valve	70-2	Liner
18	Deflector	75	Base
21	Plug	114	Bolt
22	Plug packing	116	Bolt
23	Flange	119	Motor
24	Flange packing	186	Inner casing
34	Bolt	225	Packing
38	Bolt	306	Bolt
42	Bolt	307	nut
43	Nut		
44	Plug		

■ INSTRUCTIONS

A. How to install a pump

1. Install the pump as near the edge and level of the water as possible. Generally speaking, the height of the pump center from the water level should be restricted to less than 5 meters. The height should be further reduced whenever warm water or liquids higher in specific gravity and viscosity than water are to be pumped. An increase in the length of suction pipe results in a decrease in the volume of water pumped, and more time for self-priming.
2. The base on which the pump is installed should be as flat and level as possible. It should have sufficiently large holes, provided as specified in the installation plan or in reference to the pump to be used, to accommodate foundation bolts.
3. Place the pump in its correct position on the base. Screw a nut onto the top of each foundation bolt and put the bolt through the pump frame into a hole in the pump base. Keep the bolt upright and pour in cement.
4. The cement becomes dry and hard after a couple of days. Put liners between the pump bottom and the base. Tighten the nuts uniformly while insuring that the pump is level.
5. After completing piping work, make sure again that the pump is perfect level. Apply cement mortar to finish installation.

B. Pipe works

Suction pipe

1. Suction pipe should preferably be as short and straight as possible. There should be no leakage from the joints.
2. As there is a negative pressure inside the suction pipe, soft pipe is subject to distortion, which adversely affect the smooth flow of water. Hard pipe should be used.
3. Attach a strainer to the suction end of the pipe under all circumstances. It should be kept submerged in water so as to prevent air from getting into it.

Discharge pipe

1. The discharge pipe should be as short as possible with a minimum number of bends.
2. Pressure builds up as the discharge pipe increases in length and consequently the efficiency of air discharge deteriorates. Provide the pump with an automatic air discharge valve to avert this problem.

■ OPERATION

1. Remove a priming-plug to fill water into the casing, and then reset the plug. (Open the outlet valve at the time, to easily exhaust air, often pump can not prime water unless air exhaust.)
2. Turn power switch ON.
3. If water is not pumped up in 10 minutes after starting the pump, then turn off power switch and check the pump or piping. (Close the exhaust valve if provided, when starting to pump up water.)
4. Never operate the pump to close the outlet valve, or in the air.
5. Close the outlet valve before turning power switch off, when stopping operation, to prevent high pressure loaded to the pump.
6. Don't repeat starting the pump so many times, take care the number of start within six times per hour.

■ MAINTENANCE

1. The Terada MPJ series of SERUPURA pumps require minimum attention to maintenance. However, any irregularities and possible causes of trouble should be checked regularly at weekly intervals. The main check points include: leakage at shaft mechanical seal, a decrease in pressure, excessive vibrations, noises, excess electric currents, heat build-up, inferior insulation, improper wiring connections, loose joints, loose bolts and nuts, and any other signs of abnormality. Any trouble should be redressed before it grows into a major problem.
2. When not operating the gauges of the pressure fixed and vacuum gauge should be kept closed. Open them only when necessary to use these gauges for readings.
3. Close the valve before stopping pump operation.
4. When the strainer or the impeller is clogged with large sold materials, the gauges needles start vibrating wildly, and there is a sudden noticeable decrease in pumping capacity and increase in pump noise.
The solid material should be removed immediately.
5. When the pump is in use at a very low temperature, discharge water in the pump completely so that the pump is not damaged by icing.

■ ON MARKING INQUIRIES:

Please contact any agent, distributor or branch office of the Terada Pump Mfg. Co., Ltd. when a pump develops trouble or whenever assistance and advice are needed. On marking inquiries for service and spare parts, please let us know the following information:

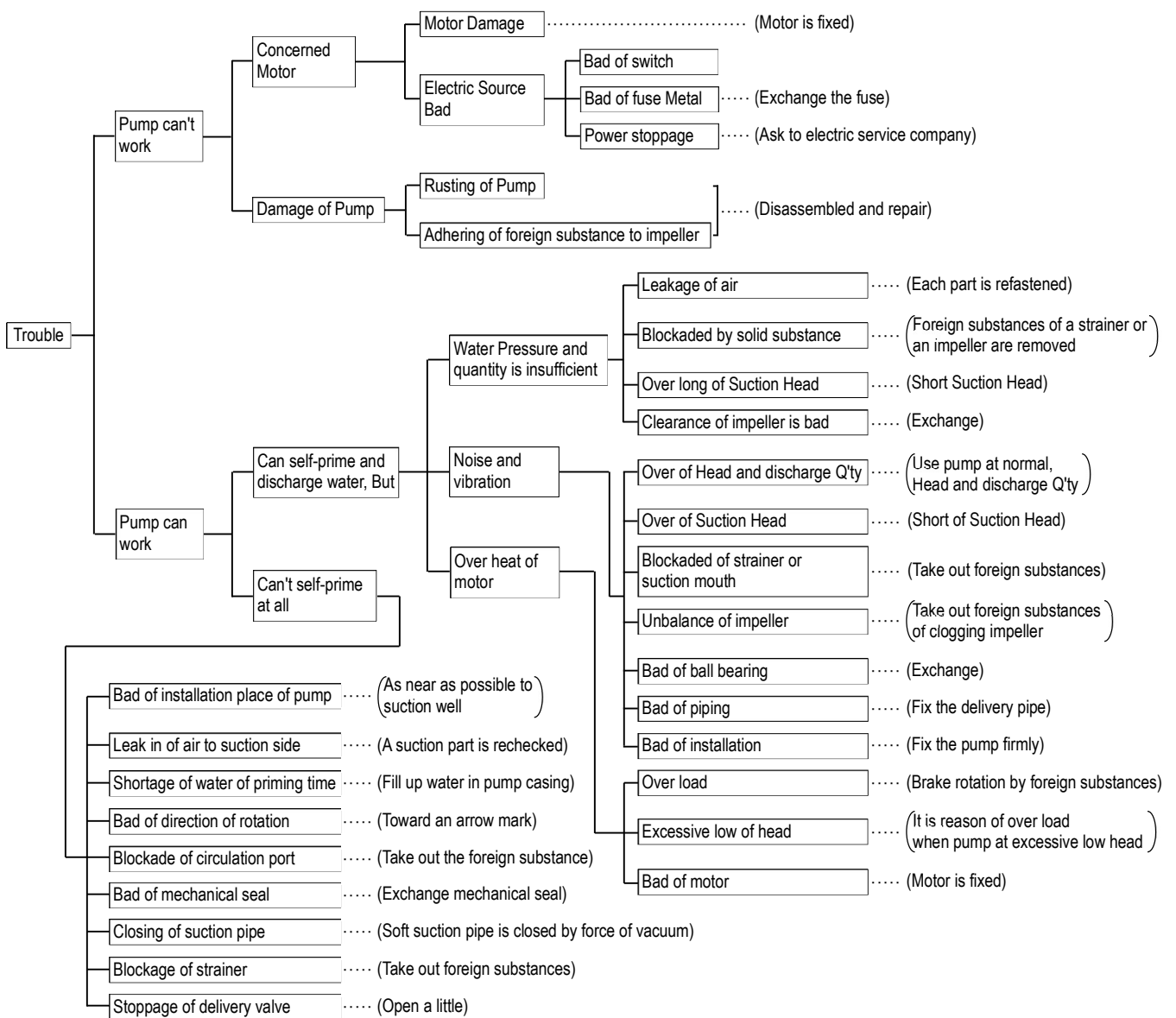
- Data on nameplate serial number and model
- Date of purchase
- Details of trouble
- Date of trouble occurrence
- Liquid handled
- Needed spare parts and their numbers

Refer to the lists of parts names and specify them accordingly.

● STANDARD ACCESSORIES

Single base	1	Strainer	1
Flange (with bolts, nuts and packing).....	2 pieces.	Operation manual	1

■ CHART OF CLASSIFICATION OF TROUBLE AND ITS MANAGEMENT



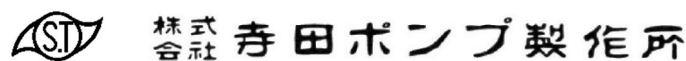
営業所一覧

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

- 東京支社 〒120-0043 東京都足立区千住宮元町13-13 千住MKビル9F
TEL 03-6625-8558(代) FAX 03-6625-8557
- 神奈川営業所 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢2125-1-101
TEL 042-774-3670(代) FAX 042-774-3671
- 北関東営業所 〒360-0015 埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048-523-2654(代) FAX 048-525-5216
- 仙台営業所 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町3-33
TEL 022-287-0231(代) FAX 022-287-0235
- 名古屋営業所 〒457-0004 愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号
TEL 052-819-0188(代) FAX 052-819-0180
- 静岡営業所 〒420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町26-32 ハークサ仆城北1F-C
TEL 054-200-1002(代) FAX 054-200-1003
- 大阪支社 〒540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋二丁目1番30号 谷町八木ビル9F
TEL 06-6940-1177(代) FAX 06-6940-1178
- 岡山営業所 〒700-0971 岡山県岡山市北区野田三丁目9-10-2 岡崎事務所1F東
TEL 086-245-4497(代) FAX 086-245-7246
- 高松営業所 〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲836番地1ガーデンハイツピュア101号
TEL 087-888-5118(代) FAX 087-888-5119
- 福岡営業所 〒812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田1丁目6番15号ウイスタリア東比恵ベースE-1
TEL 092-411-7555(代) FAX 092-411-7585
- 広島営業所 〒731-5136 広島県広島市佐伯区楽々園3丁目5番28号 楽々園ビル101号室
TEL 082-563-7486(代) FAX 082-563-7487

- お電話でのお問い合わせ 月～金 9:00～12:00 , 13:00～17:00(土、日、祝日、大型連休を除く)

※上記一覧は、取扱説明書作成時点の情報です。最新の情報は下記に記載のURLからもご確認できます。



〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号

TEL 0745-52-5101(代) FAX 0745-23-0013

E-mail : info@teradapump.co.jp

<https://www.teradapump.co.jp/>